

地球システム科学とそれに関連する技術は人類繁栄の基になる資源・エネルギー開発、建設、地下水利用、防災や環境保全などの地球が関係するすべての分野において必要不可欠なものであり、その推進は各分野から強く要請されている。

そうした要請に積極的に答え、人類の持続的発展に寄与するためにはこれらの科学技術の更なる研究開発とその有効利用を速やかに推進する必要がある。

そこで当研究所は次に示す事項に重点を置き、研究的事業および研究成果の実用化と普及を推進してきた。

- ◎ 地球システム科学・工学に関する基礎的・応用的研究の推進。
- ◎ 現場から寄せられる地下構造解明や地盤・岩盤の安定性診断や防災対策、環境保全対策や予測などに関する諸問題を解決するための実際的な検討・評価の実施と助言。
- ◎ 地球システム科学・工学に関わり新たに改良・開発された新技術の実用化。
- ◎ 研究会・講習会などの開催。

平成 19 年度は、定例理事会を 2 回、定例評議員会を 1 回開催して当財団法人の運営に関して積極的な検討を深め、当研究所の事業を広く周知せしめて、調査・研究受託等による収入の増加を促進すると共に、これまでの研究成果を踏まえ、各部門研究会の研究活動を更に推進させる。また、今までの研究会・講習会等の開催実績を踏まえ、要望が多くその成果が期待できる課題に重点を置いて、研究会、講演会、講習会を開催するとともに、国際ワークショップや国際セミナー等の共催及び運営なども行なう。

なお、ホームページ (<http://web.kyoto-inet.or.jp/people/geosys/>) を更に充実させ、当研究所の活動成果の周知及び普及を進める。

平成 19 年度に重点を置く項目は下記のとおりである。

- (1) 地球システム科学・工学に関する自主的研究。
- (2) 地球システム科学・工学とそれに関連する課題の調査・研究の受託。
- (3) 講演会・研究会の開催。
- (4) 広報活動および普及活動。
- (5) その他当財団法人の目的を達成するための事業。

平成 19 年度の事業収入、会費収入の計画は以下のとおりであり、それに伴う収支予算は別紙「平成 19 年度収支予算書」のとおりである。

① 研究受託収入：	28,000,000	円
② 講習会・研究会等収入：	300,000	円
③ 会費収入：	1,500,000	円
(合計)	29,800,000	円

以上